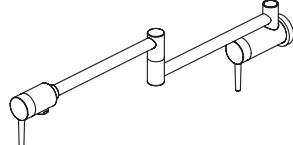


■設置後のチェック

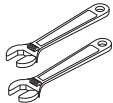
本体の設置完了後、下記項目を再度ご確認ください。チェックがつけば作業完了となります。

チェック	チェック項目
	連結箇所で水漏れがないことを確認する。
	取付位置をガスの両端から10センチ以上離す(ガスコンロ使用の場合)

■部品一覧

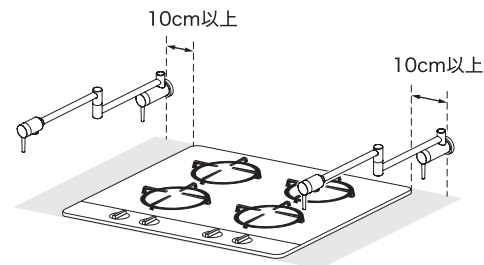
フランジトリム	フランジ	ガスケット	六角レンチ
 金属製 水栓と同色 ×1	 金属製 押しビス 外径 49mm/内径 27mm ×1	 樹脂製 外径 49mm ×1	 ×1
タッピングビス	アンカー	本体	
 直径4×高さ65mm ×4	 ×4		

■必要な工具

 ドリル	 プラスドライバー (No.2)	 シールテープ	 プライヤー	 モンキーレンチ
--	---	---	--	--

●図記号の説明  注意が必要な設置内容です。  実行しなければならない内容です。

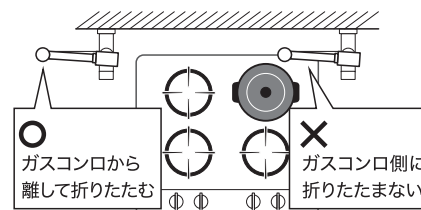
■ガスコンロに併設する場合の注意事項



●本体は10cm以上離す

火力で水栓が高温となり火傷やパッキンが変形する恐れがあります。本体はガスコンロの両端から10cm以上離して設置してください。

※設置高さに関しては、お客様のご使用の鍋の深さなどに合わせ設計側で調整ください。



●調理中は本体を外側に向けて折りたたむ

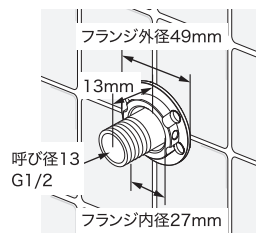
調理中は、ガスコンロから離して折りたたみ、常に火元から遠ざけるようにお客様にご説明ください。

強火や長時間の調理により樹脂が変形し故障の原因になります。ご使用により起因した症状は製品不良には該当せず有償対応となります。

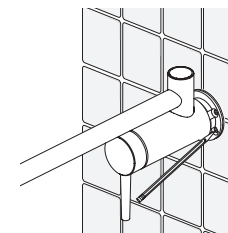
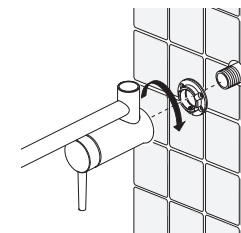
■設置手順 給湯接続不可

1 本体の位置決め

- ①タイルなどの仕上げ面から給水管ねじを13mm出す。 ②フランジを被せ、本体を回す。 ③フランジの穴に印をつける。



※推奨取付穴直径25mm
外径49mmのフランジがグラつかずに安定して固定できるようにフランジの内径27mm以下で欠き込む。

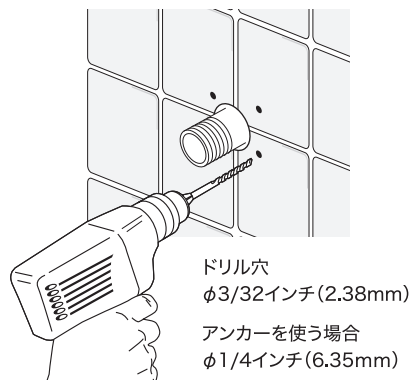


❗ 本体やキッチンを傷つけないように充分な養生を行い、常に周囲を注意して作業を行なってください。

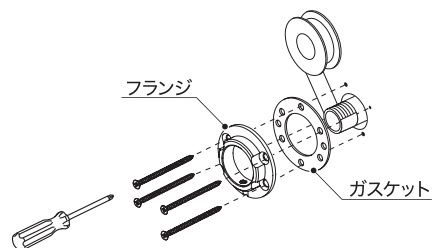
■設置手順(つづき)

2 本体の固定

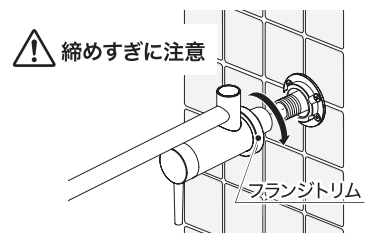
① 本体、フランジを外し、穴を開ける。



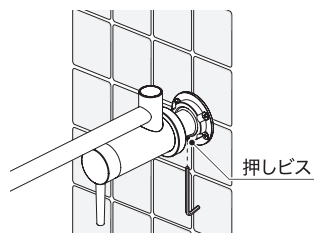
② 管にシールテープを巻き、ガスケット、フランジをビスで固定する(必要に応じてアンカー)。



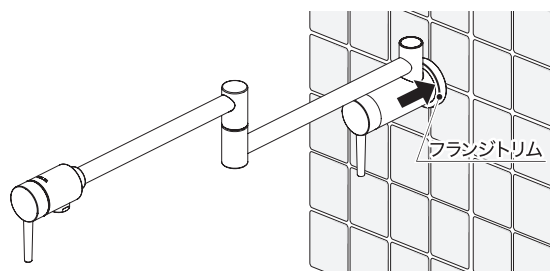
③ フランジトリムを本体に取付け、本体を矢印方向に回して固定する。



④ フランジの下に差し込める押しビスを六角レンチで締め固定する。



④ フランジトリムをフランジ側にスライドする。



3 汚れ出し・水漏れ確認

エアレータを外し、1分通水しゴミを吐き出す。

水漏れがないか確認し、終わったらエアレータを戻す。

